

# 株式会社 よみうりランド

証券コード9671

## Contents

- 業績ハイライト／01 ●株主の皆様へ／02 ●営業の概況／02
- 部門別営業の概況／03・04 ●財務諸表〔個別〕／05・06
- 財務諸表〔連結〕／07・08 ●トピックス／09
- 株式の状況／10 ●会社の概況／10 ●株主メモ

第80期

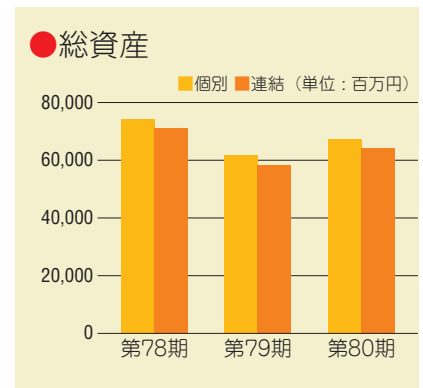
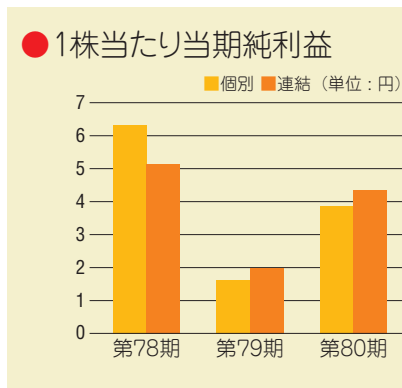
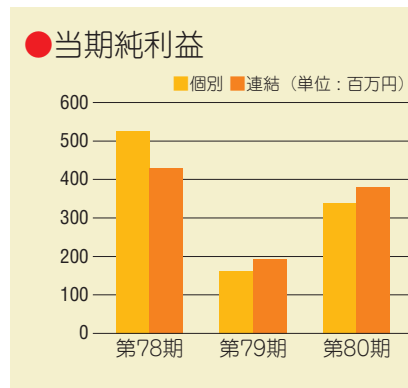
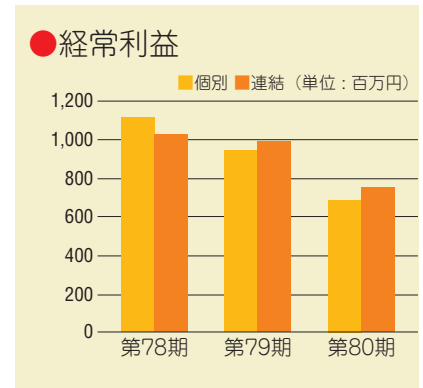
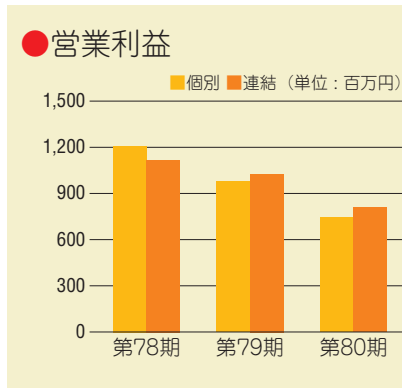
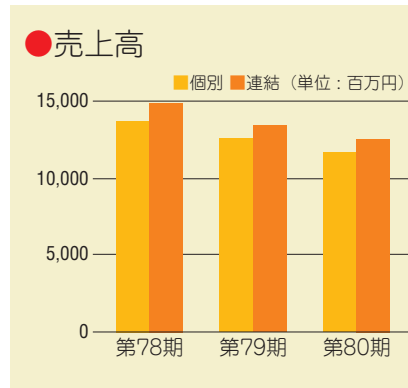
事業報告書

H15・04・01 ▶ H16・03・31



よみうりランドキャラクター  
ランドドッグ

## 業績ハイライト[個別・連結]



01

科 目	第78期 平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで		第79期 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで		第80期 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで	
	個別	連結	個別	連結	個別	連結
売上高 (百万円)	13,706	14,866	12,548	13,393	11,633	12,504
営業利益 (百万円)	1,208	1,118	976	1,027	744	809
経常利益 (百万円)	1,113	1,027	942	989	688	751
当期純利益 (百万円)	526	428	161	191	339	380
1株当たり当期純利益 (円)	6.31	5.13	1.62	1.99	3.86	4.36
総資産 (百万円)	74,224	71,167	61,590	58,392	67,424	64,450

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第80期（平成15年4月1日から平成16年3月31日まで）の事業の概況を取りまとめましたので、ここに本報告書をお届け申し上げます。

当期の我が国経済は一部に明るさも見え始めましたが、個人消費は今ひとつ力強さを欠き、天候不順もあって、当社の関連するレジャー業界は引き続き厳しい経営環境を強いられました。

こうした中で、当社は「既存事業の売上げ堅持とローコスト化」「所有地の有効活用」「新規事業の積極開発」を目標に、経営努力を続けてまいりました。

既存事業では、船橋競馬場と船橋オートレース場の走路改修、川崎競馬場の特別観覧席改修、遊園地のプールW A Iの床面舗装や遊戯機の整備などを行い、安全管理を徹底したうえで、売上げ堅持とコスト削減に努めました。

所有地の活用では、10月に医療法人財団に賃貸した老人保健施設「よみうりランドケアセンター」が開所しました。また、特別養護老人ホーム「よみうりランド花ハウス」、高齢者介護専門の「よみうりランド慶友病院」にも所有地を賃貸することが決まり、着工しました。

さらに、当社直営の新規事業として、2月には川崎競馬場隣接地にコンビニエンスストア、3月には遊園地隣接地に首都圏最大級の野天風呂を持つ温浴施設「よみうりランド丘の湯」をオープンし、それぞれ近隣の方々のご好評をいただいております。

引き続き、全社一丸となって、社業の発展に邁進する所存でございます。

なお、6月25日をもちまして、中保章は代表取締役会長に、小谷直道は代表取締役社長に就任いたしました。

なにとぞよろしくご高承のほどお願い申し上げますとともに、今後も一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年6月



代表取締役社長

小谷直道

## 営業の概況

### ●営業の成果並びに対処すべき課題

当期の売上高は、東京二場におけるゴルフ収入の増収や温浴施設等の新規事業における収入があったものの、競馬・オートレース事業の一人当たり購買金額の落ち込みや夏のプールW A Iが冷夏により低迷したこと及びボウリング場の閉鎖などによる減収要因が影響し、116億3千3百万円（前期比7.3%減）となり、経常利益は、6億8千8百万円（前期比26.9%減）、当期純利益は、固定資産除却損が減少したこと等により、3億3千9百万円（前期比110.4%増）となりました。

今後の当社事業を取り巻く経営環境は、個人消費の回復が厳しい状況の中で従来のレジャー事業にとどまらず、他事業への転換を行う企業が相次ぐなど業態を超えた競争の熾烈化が予想されます。

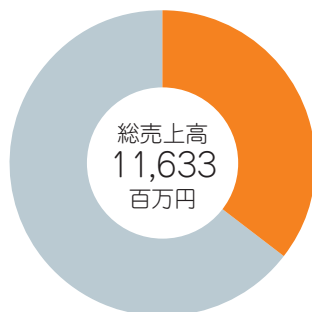
こうした状況に対処するため、既存事業の業績確保と新規事業の推進により、将来を見据えた事業基盤を固めてまいります。

また、当面は、引き続き投資効率を重視した設備投資と財務体質の健全性の確保、少数精鋭並びに役割・成果重視による事業運営、子会社の経営改善によるグループ経営の効率化、及び直営事業の展開によるノウハウの育成などを課題として捉え、この難局を打開するため精励する所存であります。

※数値は個別のものであります。

## 部門別営業の概況

### 賃貸部門



売上高 **4,115**百万円

構成比 **35.4%**

川崎競馬は前期比1日増の68日、船橋競馬は前期と同じく55日開催されました。川崎競馬場は、空調機工事や、食堂の整備などに努め、船橋競馬場もスタンド2階の床張替工事などを実施し、ファンサービス向上に全力を注ぎましたが、場外、電話投票発売が定着したことによる本場への来場者減及び一人当たり購買金額の減少には歯止めがかけられず両場ともに投票券売上高は減少しました。

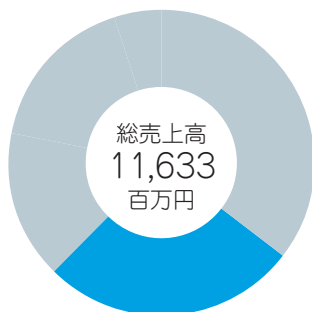
船橋オートレースは、前期比4日減の107日開催されました。9月にビッグレース「SG第7回オートレースグランプリ」が開催された他、当社冠レースにおいてイベントを実施しファンサービスに努めるとともに、設備面では空調機などの整備も行いましたが、一人当たり購買金額の落ち込みが続くなどしたため、投票券売上高は減少しました。

この結果、賃貸収入は、野球場、サッカー場及び「よみうりランドケアセンター」からの賃貸収入も加え、41億1千5百万円(前期比12.5%減)となりました。



▲新走路で白熱したレースが繰り広げられる船橋オートレース

### ゴルフ部門



売上高 **3,140**百万円

構成比 **27.0%**

東京よみうりカントリークラブは、閑散期の会員特別優待券及び新たに実施した会員誕生日優待が好評であったことや、冷夏の影響で夏場の入場者が好調であったことなどにより入場者、ゴルフ収入ともに増加しました。

よみうりゴルフ倶楽部は、クラブハウスに特別室を増設するなど顧客ニーズに応えるサービスを提供しました。また、東京よみうりカントリークラブ同様会員誕生日優待を実施したこと、大口コンペも積極的に開催しました。その結果、入場者、ゴルフ収入ともに微増となりました。

静岡よみうりカントリークラブは、貸切コンペやセルフプレー、及びインターネット予約を開始するなど集客の強化に努めましたが、平日の入場者減が響き入場者、ゴルフ収入ともに減少しました。

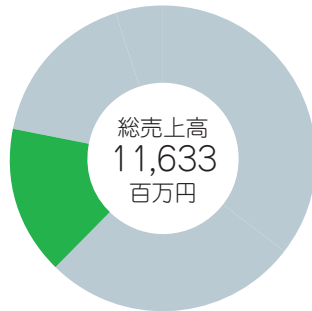
千葉よみうりカントリークラブは、シニア・女性層への登録カード発行をはじめ多様な集客活動を展開しましたが、消費単価の減少などにより、入場者、ゴルフ収入ともに減少しました。

この結果、ゴルフ収入は、31億4千万円(前期比0.6%減)となりました。



▲2003ニチレイカップワールドレディスゴルフトーナメント(東京よみうりカントリークラブ・5月開催)

## 遊園地部門



売上高 **1,830**百万円

構成比 **15.7%**

遊園地は、ジェットコースター「バンデット」15周年記念イベントをはじめ多くのイベントを展開したことや、野外音楽堂「イースト」でのコンサート等の利用回数が増えたことなどにより、入場者は増加しました。

夏のプールWAIは、床面改修などを実施し、顧客満足度の向上に努めましたが、悪天候が影響し、入場者は大きく減少しました。

ジャイアンツ球場における巨人軍のイースタンリーグ公式戦は、売店を新規に設置するなどファンサービスに努めましたが、入場者は減少しました。



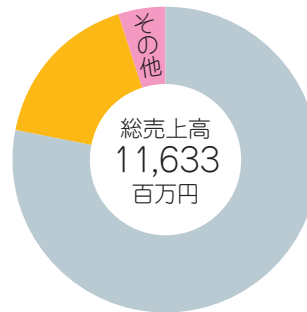
▲ジェットコースター「バンデット」

ゴルフガーデン（練習場）、宿泊施設のランド会館は顧客サービスの向上に努めましたが、入場者は減少しました。

3月にオープンしました温浴施設「よみうりランド丘の湯」は開店景気ともあいまって入場者は予想を大きく上回り、連日入館制限をする盛況ぶりとなりました。

この結果、遊園地収入は温浴施設の営業開始があったものの、消費単価の減少やボウリング場の閉鎖による減収などが影響し、18億3千万円（前期比13.0%減）となりました。

## 販売部門



売上高 **1,966**百万円

構成比 **16.9%**

食堂・売店の売上は、コンビニエンスストアのオープンや販売用土地の売却による増収がありましたが、夏のプールWAIをはじめ冷夏により飲料など夏場の収入が落ち込んだことなどが影響し、販売収入は、19億6千6百万円（前期比1.7%減）となりました。

その他、雑収入として5億8千万円（前期比0.4%増）を計上しました。

# 財務諸表〔個別〕

## 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当期末 平成16年3月31日現在	前期末 平成15年3月31日現在	比較増減
<b>(資産の部)</b>			
<b>流 動 資 産</b>	<b>10,300</b>	<b>8,126</b>	<b>2,174</b>
現金及び預金	5,486	4,812	674
営業未収金	2,030	1,607	422
有価証券	—	100	△ 100
商 売 品	8	5	3
販売用土地	1,260	1,289	△ 29
貯 蔵 品	5	5	0
前 払 費 用	11	15	△ 4
繰延税金資産	62	68	△ 6
短期貸付金	1	2	△ 0
未 収 入 金	134	211	△ 76
立 替 金	1,268	—	1,268
そ の 他	31	10	21
貸倒引当金	△ 0	△ 1	1
<b>固 定 資 産</b>	<b>57,123</b>	<b>53,464</b>	<b>3,659</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>44,611</b>	<b>44,730</b>	<b>△ 118</b>
建 物	9,410	9,481	△ 70
構 築 物	9,614	10,049	△ 435
機 械 及 び 装 置	803	955	△ 151
車両及び運搬具	52	56	△ 4
工具、器具及び備品	342	340	1
土 地	24,003	23,847	155
建設仮勘定	386	—	386
<b>無形固定資産</b>	<b>70</b>	<b>72</b>	<b>△ 1</b>
施設利用権	65	66	△ 1
そ の 他	5	5	△ 0
<b>投資その他の資産</b>	<b>12,441</b>	<b>8,661</b>	<b>3,779</b>
投資有価証券	11,499	7,628	3,870
子会社株式	126	126	—
長期前払費用	42	79	△ 36
退職給与特定引当資産	289	316	△ 27
そ の 他	484	511	△ 26
<b>資 産 合 計</b>	<b>67,424</b>	<b>61,590</b>	<b>5,833</b>

科 目	当期末 平成16年3月31日現在	前期末 平成15年3月31日現在	比較増減
<b>(負債の部)</b>			
<b>流 動 負 債</b>	<b>8,810</b>	<b>7,933</b>	<b>876</b>
営業未払金	180	226	△ 46
短期借入金	5,403	3,950	1,453
1年以内返済の長期借入金	2,184	2,348	△ 164
未 払 金	434	346	87
1年以内長期未払金	—	160	△ 160
未 払 費 用	318	649	△ 331
未 払 法 人 税 等	28	13	15
預 り 金	133	99	33
賞与引当金	80	79	1
そ の 他	46	58	△ 12
<b>固 定 負 債</b>	<b>34,013</b>	<b>31,621</b>	<b>2,392</b>
長期借入金	7,312	6,497	815
繰延税金負債	2,445	399	2,045
退職給付引当金	758	914	△ 156
役員退職慰労引当金	101	90	11
長期預り金	23,364	23,656	△ 292
そ の 他	30	62	△ 31
<b>負 債 合 計</b>	<b>42,823</b>	<b>39,555</b>	<b>3,268</b>
<b>(資本の部)</b>			
<b>資 本 金</b>	<b>6,053</b>	<b>6,053</b>	<b>—</b>
<b>資 本 剰 余 金</b>	<b>4,730</b>	<b>4,730</b>	<b>0</b>
資本準備金	4,730	4,730	—
その他資本剰余金	0	—	0
自己株式処分差益	0	—	0
<b>利 益 剰 余 金</b>	<b>11,010</b>	<b>11,106</b>	<b>△ 96</b>
利益準備金	1,513	1,513	—
任意積立金	7,724	7,698	26
配当平均積立金	520	520	—
固定資産圧縮積立金	1,034	1,008	26
別途積立金	6,170	6,170	—
当期末処分利益	1,772	1,895	△ 122
<b>株 式 等 評 価 差 額 金</b>	<b>3,359</b>	<b>693</b>	<b>2,666</b>
<b>自 己 株 式</b>	<b>△ 553</b>	<b>△ 547</b>	<b>△ 5</b>
<b>資 本 合 計</b>	<b>24,600</b>	<b>22,035</b>	<b>2,564</b>
<b>負 債 及 び 資 本 合 計</b>	<b>67,424</b>	<b>61,590</b>	<b>5,833</b>

# Non-Consolidated Financial Statements

## 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	前期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)	比較増減
<b>(経常損益の部)</b>			
営業損益の部			
営業収益	11,633	12,548	△ 914
貸貨収入	4,115	4,705	△ 590
ゴルフ収入	3,140	3,160	△ 20
遊園地収入	1,830	2,102	△ 272
販売収入	1,966	2,000	△ 33
その他の収入	580	578	2
営業費用	10,889	11,571	△ 682
売上原価	9,606	10,294	△ 688
一般管理費	1,283	1,277	5
営業利益	744	976	△ 231
営業外損益の部			
営業外収益	165	210	△ 45
受取利息	11	24	△ 12
受取配当金	76	86	△ 10
その他の収益	77	99	△ 21
営業外費用	221	244	△ 23
支払利息	221	244	△ 23
その他の費用	0	0	0
経常利益	688	942	△ 253
<b>(特別損益の部)</b>			
特別利益	133	378	△ 244
投資有価証券売却益	127	304	△ 176
固定資産売却益	4	71	△ 66
貸倒引当金戻入額	1	2	△ 0
特別損失	230	1,075	△ 845
固定資産除却損	218	695	△ 477
固定資産売却損	—	0	△ 0
臨時償却費	—	11	△ 11
投資有価証券売却損	6	—	6
投資有価証券評価損	—	363	△ 363
災害損失	5	5	0
税引前当期純利益	591	245	346
法人税、住民税及び事業税	35	90	△ 55
法人税等調整額	217	△ 6	223
当期純利益	339	161	178
前期繰越利益	1,637	1,940	△ 302
中間配当額	204	206	△ 1
当期末処分利益	1,772	1,895	△ 122

## 利益処分

(単位：円)

科 目	当期 平成16年6月25日決議	前期 平成15年6月26日決議
当期末処分利益	1,772,606,971	1,895,201,585
任意積立金取崩額		
固定資産圧縮積立金取崩額	3,477,000	—
計	1,776,083,971	1,895,201,585
これを次のとおり処分いたします。		
利益配当金	204,344,670	204,380,928
(1株につき)	(2円50銭)	(2円50銭)
役員賞与金	24,000,000	27,000,000
(うち監査役賞与金)	(2,000,000)	(2,000,000)
任意積立金		
固定資産圧縮積立金	—	26,079,000
次期繰越利益	1,547,739,301	1,637,741,657

(注) 1. 平成14年12月6日に206,057,035円(1株につき2円50銭)の中間配当を実施しました。  
2. 平成15年12月5日に204,358,900円(1株につき2円50銭)の中間配当を実施しました。

**POINT解説**●繰延税金負債の計算に使用した法定実効税率が変更されたことに伴い、固定資産圧縮積立金を取崩したものです。

# 財務諸表〔連結〕

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当期末 平成16年3月31日現在	前期末 平成15年3月31日現在	比較増減
<b>(資産の部)</b>			
<b>流 動 資 産</b>	<b>10,153</b>	<b>7,773</b>	<b>2,380</b>
現金及び預金	5,915	5,118	797
受取手形及び営業未収金	2,176	1,751	424
有 価 証 券	—	100	△ 100
た な 卸 資 産	589	605	△ 16
繰延税金資産	106	113	△ 6
そ の 他	1,366	85	1,280
貸倒引当金	△ 0	△ 2	1
<b>固 定 資 産</b>	<b>54,296</b>	<b>50,618</b>	<b>3,677</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>41,078</b>	<b>41,181</b>	<b>△ 102</b>
建物及び構築物	18,871	19,345	△ 474
機械装置及び運搬具	891	1,044	△ 152
工具、器具及び備品	366	365	1
土 地	20,561	20,406	155
建設仮勘定	386	19	367
<b>無形固定資産</b>	<b>73</b>	<b>86</b>	<b>△ 13</b>
その他の無形固定資産	73	86	△ 13
<b>投資その他の資産</b>	<b>13,144</b>	<b>9,351</b>	<b>3,793</b>
● 投資有価証券	11,512	7,636	3,875
繰延税金資産	797	804	△ 6
そ の 他	834	910	△ 75
<b>資 産 合 計</b>	<b>64,450</b>	<b>58,392</b>	<b>6,057</b>

**POINT解説①** ●主な増加要因は、「よみうりランド慶友病院」の工事代金等の立替金です。

**POINT解説②** ●主な増加要因は、株式等の有価証券の時価評価に伴う評価益です。

科 目	当期末 平成16年3月31日現在	前期末 平成15年3月31日現在	比較増減
<b>(負債の部)</b>			
<b>流 動 負 債</b>	<b>8,954</b>	<b>7,903</b>	<b>1,051</b>
営業未払金	384	417	△ 33
短期借入金	5,403	3,950	1,453
1年以内返済の長期借入金	2,184	2,348	△ 164
未払法人税等	28	28	0
賞与引当金	102	95	6
そ の 他	852	1,063	△ 211
<b>固 定 負 債</b>	<b>34,123</b>	<b>31,725</b>	<b>2,398</b>
長期借入金	7,312	6,497	815
繰延税金負債	2,447	399	2,047
退職給付引当金	858	1,010	△ 152
役員退職慰労引当金	101	90	11
長期預り金	23,372	23,665	△ 292
そ の 他	30	62	△ 31
<b>負 債 合 計</b>	<b>43,077</b>	<b>39,628</b>	<b>3,449</b>
<b>(少数株主持分)</b>			
少数株主持分	—	—	—
<b>(資本の部)</b>			
資 本 金	6,053	6,053	—
資 本 剰 余 金	4,730	4,730	0
利 益 剰 余 金	7,779	7,834	△ 55
●  その他有価証券評価差額金	3,362	692	2,669
自 己 株 式	△ 553	△ 547	△ 5
<b>資 本 合 計</b>	<b>21,372</b>	<b>18,763</b>	<b>2,608</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>64,450</b>	<b>58,392</b>	<b>6,057</b>

**POINT解説①** ●主な増加要因は、「慶友病院」の工事代金等の立替金のための借入金です。

**POINT解説②** ●主な増加要因は、投資有価証券の時価評価に伴うものです。



# Consolidated Financial Statements

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	前期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)	比較増減
売 上 高	12,504	13,393	△ 889
売 上 原 価	10,310	10,984	△ 674
売 上 総 利 益	2,194	2,409	△ 214
販売費及び一般管理費	1,385	1,381	3
営 業 利 益	809	1,027	△ 218
営 業 外 収 益	164	209	△ 45
受 取 利 息	11	24	△ 12
受 取 配 当 金	76	87	△ 10
雑 益	76	98	△ 21
営 業 外 費 用	221	248	△ 26
支 払 利 息	221	244	△ 23
雑 損	0	4	△ 3
経 常 利 益	751	989	△ 237
特 別 利 益	133	379	△ 245
投資有価証券売却益	127	304	△ 176
固定資産売却益	4	71	△ 66
貸倒引当金戻入額	1	3	△ 2
特 別 損 失	239	1,077	△ 838
固定資産除却損	227	697	△ 470
固定資産売却損	—	0	△ 0
臨時償却費	—	11	△ 11
投資有価証券売却損	6	—	6
投資有価証券評価損	—	363	△ 363
災 害 損 失	5	5	0
税金等調整前当期純利益	646	291	355
法人税、住民税及び事業税	41	103	△ 62
法人税等調整額	224	△ 3	228
当 期 純 利 益	380	191	189

**POINT解説** ●前期においては、土地の有効活用のための基盤整備に伴い、旧本社建物等の除却を行ったため、当期においては大幅に減少しています。

## 連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	当期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	前期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
<b>(資本剰余金の部)</b>		
資本剰余金期首残高	4,730	4,730
資本剰余金増加高		
自己株式処分差益	0	—
資本剰余金期末残高	4,730	4,730
<b>(利益剰余金の部)</b>		
利益剰余金期首残高	7,834	8,085
利益剰余金増加高		
当期純利益	380	191
利益剰余金減少高		
配 当 金	408	414
役 員 賞 与	27	27
(うち監査役賞与)	(2)	(2)
利益剰余金期末残高	7,779	7,834

08

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	前期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 26	2,715
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 875	313
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,690	△ 1,171
現金及び現金同等物の増減額	787	1,857
現金及び現金同等物の期首残高	5,058	3,201
現金及び現金同等物の期末残高	5,845	5,058

**POINT解説** ●営業活動によるキャッシュ・フローについては、売上債権の増加、立替金の増加等の要因により、マイナスとなっています。

## トピックス

01

## 「のびのび野天 湯のある人生」を ～よみうりランド丘の湯～ (直営)



平成16年3月26日、遊園地隣接地に「よみうりランド丘の湯」がオープンしました。丘の湯は従来のスーパー銭湯とは異なり、一度お風呂から上がり休憩した後、再度入浴することができ、健康ランドに近いスタイルとなっています。露天風呂は首都圏最大級の広さで、男性側からは府中の夜景を展望できます。その他にも全国の銘湯を再現した人工温泉をはじめ、関東では数少ない女性の内風呂にある回遊風呂など充実したお風呂を堪能していただけます。

入館料 ※会員入会手数料200円(年会費・維持費不要)

		一般	会員
大 人	平日	600円	550円
	土日祝	700円	650円
小 人 (3歳～小学生)	平日	350円	300円
	土日祝	400円	350円

営業時間 10:00～24:00(最終受付23:30)

電話番号 044-969-1126 <http://www.okanoyu.com>



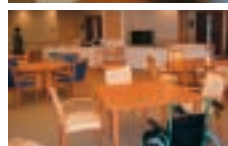
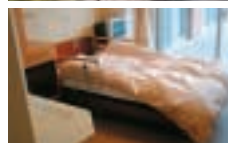
09

02

レース観戦のお供に  
～ファミリーマート川崎競馬場店～  
(直営)

平成16年2月24日、川崎競馬場隣接地でコンビニエンスストア「ファミリーマート川崎競馬場店」の営業を開始しました。「く」の字型が特徴の同店ではお酒やタバコも販売しておりますので、競馬場にお越しの際は観戦のお供に是非お立ち寄りください。

03

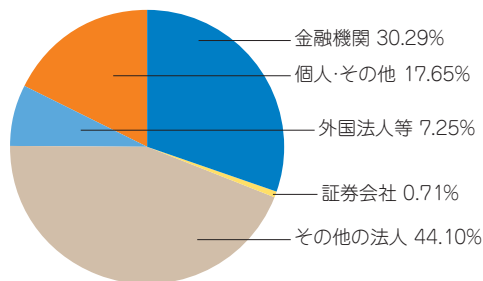
心豊かな高齢社会の創造を目指して  
～よみうりランドケアセンター～  
(賃貸)

当社敷地内に平成15年10月1日「よみうりランドケアセンター」が開所されました。同センターでは利用者の生活習慣を大切にしながら、日々、創意と工夫を凝らした良質な医療、ケア、リハビリテーションを提供し、家庭復帰、社会復帰を支援しております。150床の療養室は全室個室で、痴ほう専門棟を除く110床は1室が15～16平方メートルあり、ゆったりとした療養環境になっています。

電話番号 044-948-1611  
<http://www.landcare.jp>

## 株式の状況 (平成16年3月31日現在)

- 会社が発行する株式総数 ……………294,196,000株
- 発行済株式総数 ……………83,522,024株
- 当期末株主数 ……………5,709名
- 所有者別株主比率



## ● 大株主

株主名	当社の状況		当社の当該株主への状況	
	持株数 (千株)	議決権 比率(%)	持株数 (千株)	議決権 比率(%)
株式会社読売新聞グループ本社	9,562	11.79	—	—
日本テレビ放送網株式会社	9,442	11.64	523	2.11
株式会社東京ドーム	5,821	7.18	443	0.28
中央三井信託銀行株式会社	4,053	5.00	—	—
株式会社あおぞら銀行	3,791	4.68	—	—
大成建設株式会社	2,852	3.52	—	—
第一生命保険相互会社	2,668	3.29	—	—
ザチェースマンハッタン バンク エヌエイ ロンドン	2,356	2.91	—	—
株式会社読売巨人軍	2,014	2.48	—	—
京王電鉄株式会社	1,700	2.10	—	—

## 会社の概況

## ● 会社の概要 (平成16年3月31日現在)

商号 株式会社よみうりランド  
(英文: YOMIURI LAND CO., LTD.)

本店所在地 東京都稲城市矢野口3294番地

設立 昭和24年9月24日

資本金 6,053,030,806円

主要な事業内容 賃貸部門 競馬及びオートレースの競技場の賃貸  
ゴルフ部門 ゴルフ場の経営  
遊園地部門 遊園地、宿泊施設、ゴルフ練習場、温泉施設などの経営  
販売部門 食堂、売店の経営及び不動産の売買

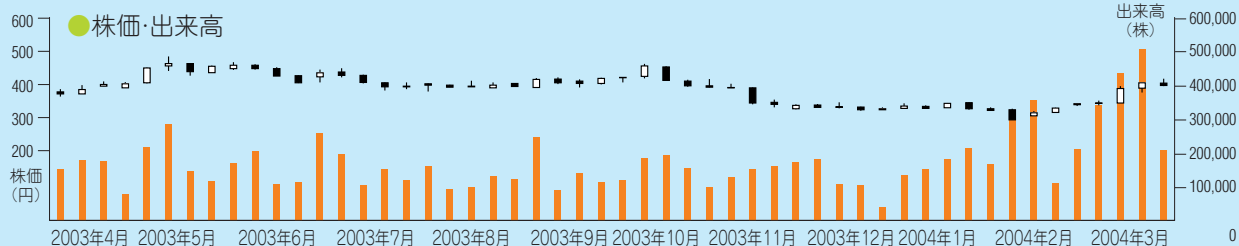
## ● 従業員の状況 (平成16年3月31日現在)

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
180名	△9名	42歳7ヵ月	16年10ヵ月

## ● 役員 (平成16年6月25日現在)

代表取締役会長 ……………中 保 章  
代表取締役社長 ……………小 谷 直 道  
専務取締役 ……………伊 津 野 介  
常務取締役 ……………牧 田 清 司  
常務取締役 ……………志 摩 喜 三  
取締役 ……………増 山 光 男  
取締役 ……………片 岡 俊 治  
取締役 ……………番 井 晃 亨  
取締役 ……………正 力 健 一  
取締役 ……………桑 山 恒 雄  
取締役 ……………渡 邊 齊 一郎  
取締役 ……………氏 家 逸 夫  
監査役(常勤) ……………西 庄 司 治  
監査役 ……………濱 邦 久  
監査役 ……………平 野 昭 宏

## ● 株価・出来高



## 株主メモ

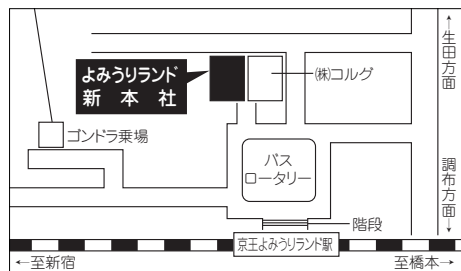
## Shareholders' Information

- 決算期 毎年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 配当金 利益配当金は毎年3月31日現在の株主にお支払いします。中間配当金を支払う場合は、毎年9月30日現在の株主にお支払いします。
- 基準日 毎年3月31日  
定款の規定により名義書換停止は行わないことになっています。
- 名義書換代理人 みずほ信託銀行株式会社  
東京都中央区八重洲一丁目2番1号
- 同事務取扱所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
- 同取次所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店  
みずほインベスターズ証券株式会社本店及び全国各支店
- お問合せ先 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 (03) 5213-5213 (代表)
- 公告掲載新聞 日本経済新聞  
\*但し、商法特例法第16条第3項に定める貸借対照表及び損益計算書に係る情報は、以下のホームページアドレスにおいて提供しております。  
<http://www.yomiuriland.co.jp/ir/kessankoukoku.html>
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 株主招待券権利確定日 3月31日、9月30日

### ～本店移転のお知らせ～

平成16年9月20日より、よみうりランド本社は下記に移転いたします。

新住所：〒206-8566 東京都稲城市矢野口4015番地1



## 株式会社 よみうりランド

この事業報告書に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

- 総務部 電話 044-966-1131
- ホームページ <http://www.yomiuriland.co.jp/>